

2017年度 活動報告書

meccカーボンオフセット

meccでは、会員事業者向けのサービスとして、カーボンオフセット用の二酸化炭素の排出権を2008年に100トン分購入しました。すでにさまざまな事業活動(報告書印刷、イベント運営等)のオフセットにご活用いただいています。2017年度末までの償却分は53トンとなっており、2018年度以降の償却分として47トンが持ち越されています。

2017年度使用実績

- ◎ イベント運営 エコライフ・フェアMINATO 2017
- ◎ 印刷物製作 meccレポート2016
- ◎ 各種報告書印刷 あすか製薬、NECキャピタルソリューション

mecc会員事業者であれば、mecc保有のカーボンオフセットをご使用いただけます。ぜひご活用・ご相談ください。



この印刷物は、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場で作りました。森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立つ「森の町内会・間伐に寄与する紙」、VOC発生量を低減できる「植物油インキ」、イソプロピルアルコール(VOCの一種)等を含む有害廃液を出さない「水なし印刷」を使用しています。また、CTP(Computer to Plate)方式の採用により製版用現像液やフィルムを全廃しています。



みなと環境にやさしい事業者会議 2017年度 活動報告書

発行 みなと環境にやさしい事業者会議
〒105-0013 東京都港区浜松町1-13-1 エコプラザ内(3F)
TEL 03-6806-9280 FAX 03-6806-9282
Mail info@mecc-minato.net

発行日 2018年5月23日

製作 みなと環境にやさしい事業者会議 事務局



設立趣旨

21世紀に入り、異常気象の多発、北極や南極の海水の溶解、砂漠化の進行など地球温暖化の影響はますます深刻さを増しています。豊かな自然環境を守り、かけがえのない地球を次世代に引き継いでいくのは、わたしたちみんなの責務です。

便利さや快適さを求める大量生産、大量消費、大量廃棄という社会生活の基本スタイルを、市民、企業、行政を始めとしたあらゆる個人、組織が、それぞれの立場で真剣に考え、環境にやさしいライフスタイルへと転換していく必要があります。

港区は、東京の中でも企業や各種団体の本部機能が集中しています。この特徴を生かして事業者と区民と区が連携し新しい協働の場を確立できれば、これまでにない環境保全活動の取組みとして「みなとモデル」を全国に発信することができるでしょう。ひとつの地域での取組みが、世界を変えていくほどのうねりになる。「みな

と」という地域に集うわたしたちのネットワークは、そんな大いなる可能性を秘めていることでしょう。そうした新しい連携を可能にする土台として「みなと環境にやさしい事業者会議」は平成18年5月に設立され、今年で13年目を迎えます。

「みなと」にかかわるすべてのパートナーシップの要として、生きた情報と知恵の受発信が行われる前線基地として、そして個々の事業者にとっては地域と地球環境への貢献を同時に推進できるひとつの拠り所として、業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場に、環境に対する互いの意識を高めあえる場に、そしてアイデアが次々とカタチになっていく活気のある場になりたいと思います。

この趣旨にご賛同いただけるひとりでも多くの事業者の方に仲間に加わっていただければ幸いです。わたしたちが手をたずさえることで生まれる力が、地球環境問題を根本的な解決にむかわせる希望となることを期待して。

2017年度 活動カレンダー & マップ

2017年	5月	23日	① 総会・第1回meccセミナー
		27日	② エコライフ・フェアMINATO2017 エコバザー・バードウォッチング
	6月	20日	③ 第2回meccセミナー
	7月	15日	④ みなとクリーンアップ大作戦・エコバザー
	8月	3日	⑤ ハマサイト打ち水大作戦・エコバザー
		23日	⑥ お台場打ち水大作戦
	9月	13日	⑦ 第3回meccセミナー
		28日	⑧ 第1回meccツアー
	10月	20日	⑨ 企業と環境展 シンポジウム・事例発表
		21日	⑨ 企業と環境展 親子ワークショップ
		22日	⑨ 企業と環境展 親子ワークショップ
			高校生による環境ラジオCMコンテスト
			大学生による環境ビジネスアイデアコンテスト
	11月	25日	⑩ スポGOMI大会
2018年	1月	4~30日	⑪ mecc EXPO
		29日	⑫ 第4回meccセミナー
	3月	7日	⑬ 第2回meccツアー

※7月4日 新虎通り、8月2日 日比谷通り打ち水大作戦は、雨天のため中止となりました。



2017年度 活動報告書目次

01	設立趣旨
02	活動カレンダー & マップ
03	ごあいさつ
04	みなとタバコルール
05	総会
06	スポGOMI大会
07	企業と環境展
	◎実施概要・meccギャラリー・テーブル広告・資料展示コーナー
	◎シンポジウム・事例発表
	◎親子ワークショップ
	◎高校生による環境ラジオCMコンテスト・大学生による環境ビジネスアイデアコンテスト
15	meccセミナー
17	meccツアー
18	みなとクリーンアップ大作戦・meccエコバザー
19	みなと打ち水大作戦
20	mecc EXPO
21	meccに参加するには?
22	mecc会員一覧



港区長
武井 雅昭

みなと環境にやさしい事業者会議におかれましては、「打ち水大作戦」や「企業と環境展」、「スポGOMI大会」など、事業者・区民・区の協働の場となるさまざまな活動に積極的に取り組んでいただいております。これまでの活動に対して、あらためて感謝申し上げます。

区では、昨年、人口が25万人を回復し、今後も増加が続く見込みです。また、区内の事業所数は約4万、従業員数は100万人超に上り、活発な事業活動が営まれています。

港区の二酸化炭素排出量は、その8割を占める民生業務部門及び民生家庭部門を中心に、都内の区市町村で最も多い約400万トンとなっています。

区は、本年、「港区地球温暖化対策地域

推進計画」を改定し、区内の二酸化炭素排出量を、2007～2009年度の平均値に対し、2020年度には6.8%削減、2030年度には37%削減する目標を新たに示しました。

計画に基づき、再生可能エネルギーや、新たなエネルギーとして期待されている水素エネルギーの普及促進、中小ビルの省エネ取組みの支援等の施策を着実に進めてまいります。

会員事業者の皆様におかれましても、環境負荷の少ない社会経済活動への転換についで、一層のご協力をお願いします。

今後も、環境問題の解決に向けた、会員事業者の皆様との積極的な取組みを通じ、みなと環境にやさしい事業者会議の活動が益々発展されることを祈念いたします。



みなと環境にやさしい
事業者会議会長
・港区副区長

小柳 津明

平成18年5月に設立されたみなと環境にやさしい事業者会議(mecc)は、今年で13年目を迎えました。会員数は、当初の29事業者から、平成29年度末で55事業者まで広がりました。この間、会員事業者の皆様には、事業者会議の運営に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

平成29年度のmeccの活動を振り返りますと、セミナーやツアーなど会員事業者間の交流・情報共有事業に加え、年間の一大イベント「企業と環境展」や、好評につき2回目の開催となった「mecc EXPO」、夏の風物詩「打ち水大作戦」など、会員事業者と区民、地域との結びつきを強める多様な活動を行ってま

いりました。

昨年5月には、たばこを吸う人も吸わない人もともに快適に過ごせるまちづくりをめざし、港区との間に「みなとタバコルール連携協力に関する協定書」を締結しました。

恒例イベントとなった「スポGOMI大会」においては、「みなとタバコルール賞」を新設し、拾い集めたたばこの吸い殻の量を競うことで、参加者への「みなとタバコルール」浸透を図りました。

今後も、会員事業者間の連携を深め、次世代の環境分野をリードする新たな事業に取り組んでまいります。皆様のより一層のご協力をお願いします。

「みなとタバコルール」を浸透させるため、港区と連携協力協定を締結しました



平成15年に新橋駅周辺をモデル地区に指定しスタートした「みなとタバコルール」

港区は、平成26年に「みなとタバコルール」を条例化し、たばこを吸う人も吸わない人もお互いを思いやり、ルールとマナーを守ることで、快適で笑顔の飛び交うまちを目指しています。

平成28年に港区が実施した聞き取り調査では、区内の喫煙者の約9割が在勤者や区外から仕事・観光で港区を訪れた人であることがわかりました。在勤者や来街者にルールを浸透させるためには、区内事業者の理解と積極的な取組みが不可欠です。そのため、みなと環境にやさしい事業者会議と港区がお互いに有する資源を活用し、みなとタバコルール推進の旗振り役として連携協力する協定を締結しました。

5月23日の締結式では、武井雅昭港区長と小柳津明mecc会長にご登壇いただき、締結書への署名・記念撮影を行いました。その後、両者の役割分担を港区環境課よりご説明いただき、2020年度までの達成目標として「みなとタバコルール宣言 ※登録事業者数を2020事業者」とすることを確認し締結式を終了しました。

※みなとタバコルール宣言
「みなとタバコルールの趣旨を理解し、賛同し、ルールを守り、行動する。」ことを宣言し、区に登録する取組（平成29年4月から開始）

「みなとタバコルール」とは？

「港区環境美化の推進及び喫煙による迷惑の防止に関する条例」（平成26年7月1日施行）で、港区内で暮らす人や働く人、訪れる人など全ての人を守るべきルールとして「みなとタバコルール」を定めています。

港区内全域の道路、公園、児童遊園、公開空地など屋外の公共の場所では、

- ① たばこの吸い殻のポイ捨て禁止
- ② 喫煙の禁止（指定喫煙場所を除く）
- ③ 私有地で喫煙する場合であっても屋外の公共の場所にいる人にたばこの煙を吸わせることがないよう配慮

罰則ではなく、一人ひとりにマナーを守っていただくことでたばこを吸う人も吸わない人もお互いに配慮しあう快適なまちづくりを目指します。



総会

mecc会員事業者が一堂に会し2017年の活動プランを話し合いました。

1年間の活動プランを話し合いました



5月23日、慶應義塾大学・芝共立キャンパスにて、武井雅昭港区長、mecc会長・小柳津明港区副区長、会員31事業者の出席の下、2017年度総会を開催しました。

冒頭、武井港区長から、「低炭素化社会の実現に向け、区・区民・事業者との連携を深め、会員事業者の環境問題に対する高い意識と実践の力を結集頂き全国に先駆けた取組みを発信してほしい」とご挨拶頂きました。mecc会長である小柳津副区長からは、「さらに環境施策を進めるためには事業者の協力が必須で、港区で行っている環境施策を会員事業者だけでなく、まわりを巻き込みつつ、一緒に進めていきたい」と目標が述べられました。続いて、2016年度の会計収支と活動報告を事務局から行い、2017年度事業計画は満場一致で可決されました。

総会終了後に行われた第1回meccセミナーでは、(株)伊藤園 常務執行役員 CSR推進部長 笹谷秀光氏より「持続可能な社会への企業の役割と連携～持続可能な開発目標SDGsとは何か～」をテーマに、世界がどう動いているか、環境のあり方や企業の結束の力について講演頂きました。

講演終了後は、参加事業者から自己紹介を兼ね各社のCSR活動などを発表頂く時間を設け、情報交換を行いました。「企業シェアリングのビジネスチャンスが見えた」や「他社の取組みを聞くことができたのでタイアップしてみたい」など事業者同士のネットワークが広がる機会となりました。



- 日時：2017年5月23日（火）
- 会場：慶應義塾大学・芝共立キャンパス
- 参加事業者：アクセンチュア、NECキャピタルソリューション、NJS、エムオン・エンタテインメント、オイシックスドット大地、笠井設計、鹿島建設、カワセ印刷、知識経営研究所、DSM、テクノプロ・ホールディングス、東京ガス 中央支店、東京フォレストパワー、東京放送ホールディングス、ニコン、西松建設、日本自動車連盟、博報堂、パナソニックヘルスケア、プロネクサス、文化工房、文星閣、ベネッセコーポレーション、三井倉庫ホールディングス、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、ヤマハ、横浜ゴム、リコージャパン

スポGOMI大会

学生や地元青年会も参加する、区民連携イベントに成長しています。

チームワークと戦略が勝負のカギ！ ポイント制のゴミ拾い！ スポGOMI大会in新橋！



3年目となった今年も、会員事業者のほか近隣企業や中学校からも参加頂き15チームが集まりました。選手を代表して高陵中学の生徒が選手宣誓を行いました。meccと港区が締結した「みなとタバコルール連携協定」に基づき、「みなとタバコルール賞」を新設し、港区から取組みが紹介されました。その後、各チーム3分間の作戦会議を行い、開始の合言葉「GOMI拾いはスポーツだ！」の掛け声とともに新橋周辺へ飛び出していきました。

重量をメインに集めるチームや、ポイントの高いタバコを集めるチーム、時間内に満杯になったゴミ袋を何度も置きに戻るチームがあり、作戦にもそれぞれの個性があふれていました。

優勝は、他チームの倍を超える30.35kgのゴミを集めた一般参加の「うさぎさん」チームでした。第2位「もぐらさん」チーム（9.55kg）、第3位「高陵A」チーム（13.55kg）でした。もぐらさんチームは、ポイントの高いタバコの吸い殻を多く集めたので2位入賞となりました。

上位3チームには表彰状と森ビル提供の「六本木ヒルズ展望台入場招待券」が授与され、優勝チームは森ビルの峰崎様より直接表彰頂きました。「みなとタバコルール賞」は一番タバコを多く拾った「もぐらさん」チーム（1.2kg）で、港区提供の「スティックのりと促進グッズセット」が贈られました。また参加者全員に、森永乳業提供の「森永乳業学習帳」、JAF提供の「オリジナルタオル」が配られました。



分別回収されたゴミは、可燃53.5kg、不燃44.3kg、ビン缶23.1kg、ペットボトル9.1kg、タバコの吸い殻4kg、合計134kgとなり、昨年の123.5kgを10kgも超えるゴミが回収できました。



参加事業者の声

NJS 坂井貴彦氏

当社からは4名が参加させて頂きました。残念ながら入賞は逃しましたが、頂いたゴミ袋をいっぱいにすることができました。街がきれいになった快感もさることながら、チーム一丸となって取り組めたことが嬉しかったです。



- 日時：2017年11月25日（土）10時00分～12時30分
- 会場：JR新橋駅周辺
- 参加事業者：NJS、東京ガス 中央支店、パナソニックヘルスケア、港区環境課、港区野球部チーム、森ビル（合計15チーム 66名参加）

企業と環境展

会員事業者の活動報告や将来の環境を担う若者向けのプログラムを開催しました。



10月20日～22日に六本木ヒルズ・ヒルズカフェにて「企業と環境展2017」を開催しました。mecc活動でも大きなイベントの一つで、会員事業者の発表や、親子向けワークショップなど、さまざまなプログラムを毎年展開しています。

オープニングのシンポジウムはSDGsをテーマに、日本と環境先進国スウェーデンの取組みを紹介、後半は会員事業者の事例発表を行いました。21日・22日の小学生の親子を対象としたワークショップは、会員事業者4社がプログラムを担当しました。全てのワークショップで定員を上回る申し込みがあり、企業の環境活動を親子で学び話し合う貴重な場となりました。

22日は、次世代に向けたコンテンツとして、高校生による環境ラジオCMコンテストと、大学生による環境ビジネスアイデアコンテストを開催しました。

企業と環境展2017プログラム

- ◎日時:2017年10月20(金)～22日(日)
- ◎場所:六本木ヒルズ2階「ヒルズカフェ/スペース」
- ◎特別協賛:森ビル

10月20日(金)

- 【会長挨拶】 みなと環境にやさしい事業者会議会長/小柳津明 港区副区長
- 【シンポジウム】 テーマ:SDGs『持続可能な生産消費』の具体化～五輪の調達を好機に!～
登壇者:慶應義塾大学大学院教授 蟹江憲史氏
- テーマ:SDGs第一位!環境先進国スウェーデンの事例と日本の可能性
登壇者:ワンブラネット・カフェ 取締役/環境マネージャー Peo Ekberg (ペオ・エクベリ) 氏
- 【事例発表】 テーマ:西松建設の環境への取組み
登壇者:西松建設 環境品質部 川嶋ありさ氏

10月21日(土)

- 【親子ワークショップ】
- 世界にひとつ、自分だけの「森カスターネット」をつくろう!
提供:ニコン (協力:日本自然保護協会)
 - ココナッツでリップクリームを作ろう!
提供:オイシックスドット大地 (協力:ココウェル)
 - スマホ顕微鏡で、ミクロの世界をのぞいてみよう!
提供:パシフィックネット (協力:sopa.jp)

10月22日(日)

- 【高校生による環境ラジオCMコンテスト】
課題提供:みなと環境にやさしい事業者会議
- 【親子ワークショップ】
- 東大生と学ぶ環境ワークショップ～「炭素」の秘密に迫ろう!～1・2
提供:ベネッセコーポレーション (協力:東京大学CAST)
- 【大学生による環境ビジネスアイデアコンテスト】
課題提供:日本自動車連盟、ベネッセコーポレーション

港区の自然あふれる魅力を再発見! meccギャラリー



港区の自然や生物多様性をテーマにした写真を、会員事業者や一般から募集を行いヒルズカフェ内に展示しました。昨年を超える作品が集まり展示スペースも拡大。写真の応募者も多く来場し、また一般のカフェ利用者も写真の展示を楽しんでいました。

●参加事業者:テクノプロ・ホールディングス、港区



meccや会員事業者の活動をアピール! テーブル広告・資料展示コーナー



- ①会場入口にはプログラムを掲出。通行者のアイキャッチにもなり、親子ワークショップへの問合せをたくさん頂きました。
- ②カフェ中央には会員事業者の取組みを紹介する資料コーナーを設け、CSR報告書などを展示しました。一般のカフェ利用者が手に取って読む姿も見られました。
- ③会場内のテーブルには、各事業者の環境広告をプリントしました。日頃の活動報告や、環境対策製品、環境クイズなど、さまざまなアイデアが詰まった広告が並び、親子ワークショップの際には子供たちも熱心に目を通していました。
●参加事業者:オイシックスドット大地、世紀東急工業、東京ガス 中央支店、ニコン、日本自動車連盟、パシフィックネット、プロネクサス、ベネッセコーポレーション、港区、みなと環境にやさしい事業者会議、森永乳業、森ビル
- ④親子ワークショップのチラシ。港区内の小学校と公共施設に2,000部を配布し募集を行いました。今年度も各プログラムに定員を超える応募があり、毎年楽しみに参加くださっている方もいます。



企業と環境展

シンポジウム・事例発表

最新の環境事情を学ぶシンポジウムと、会員事業者による活動報告を行いました。



シンポジウム

国内を知る! SDGsが変革する世界

慶應義塾大学大学院教授 蟹江憲史氏



SDGsの基礎知識から、ご自身が評議委員を務める日本政府の「SDGs推進本部」の成り立ちや、実施指針の概要を詳しくご紹介頂きました。また、活用事例として蟹江氏が地方自治体と実際に行っている読谷村（沖縄県）の地方再生の取り組みや、南三陸町（宮城県）の自然を活かした地域ブランドづくりなどの解説があり、国・自治体・企業とさまざまなレベルで拡大していくべきだと話されました。後半は「SDGs」は共通言語であり世界基準での評価ができるため、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでSDGsを活用し、東京の先進性を示し課題対応のスケールアップをする好機にすることが望まれているとのことでした。

参加事業者の声



テクノプロ・ホールディングス 景山強氏

「SDGsは環境や人権等の社会課題の解決を目標とするが、自由な経済活動と相反するものではなく、持続的な経済的繁栄を目指すもの」とのお話が印象的でした。また「国連」「開発目標」などと聞くと国家や、資源を扱うグローバル大企業を連想してしまいましたが、自治体や大学の取り組み事例を紹介して頂き、規模や業態を問わず、あらゆる企業や団体が参加できるものとあらためて理解できました。

TECHNOPRO

シンポジウム

海外を知る! SDGs第一位!環境先進国スウェーデンの事例と日本の可能性

ワンプラネット・カフェ Peo Ekberg (ペオ・エクベリ)氏



ペオ氏の講演では、出身国でSDGsの国際ランキング1位であるスウェーデンの実例を紹介頂きました。環境先進国である同国ではグリーンエネルギーが増え、ゴミ（リサイクル率99%）も温暖化のCO₂（二酸化炭素）も大幅に減っているが、経済は年々成長しています。一例として、街中にあるゴミ集積ボックスには集積率を計る装置が付けられ、満杯になったボックスを感知しゴミ回収のルート効率よく決め、作業員の負担や時間、燃料も削減しているそうです。また、その燃料も回収したゴミから作ったリサイクル燃料と徹底されているそうです。業務軽減でできた新たなプライベート時間で経済を回し、全体の好循環を生んできました。エコで賢いライフスタイルやビジネスが可能で、実際にアクションを起こすことが大切だと話されていました。

参加事業者の声



テクノプロ・ホールディングス 景山強氏

環境に徹底的に配慮しながらも、経済合理性や効率性を犠牲にせず、むしろ日本よりも高い経済成長を遂げていることに驚きました。天然ガス等の地下資源に対する日本と異なる認識も新鮮でしたが、その判断基準や理由がシンプルで分かりやすく、こうした理解・納得しやすい説明が国民の環境意識の高さに繋がっているように思いました。

TECHNOPRO

事例発表

事例を知る! 西松建設の環境への取り組み

西松建設 川嶋ありさ氏



西松建設は、土木・建築事業、開発事業、不動産事業を行う建設会社です。「直接環境に負荷をかける業態」という意識を持ちさまざまな取り組みを行っています。工事用仮設照明のLED化、ハイブリッド重機の導入やバイオディーゼル燃料の活用を推進するほか、建設重機の燃費向上のため「省燃費運転講習」を開催し現場関係者に好評を博しているそうです。また、環境意識底上げのため2,500名を超える社員全員に「エコ検定」取得を推進し、2016年度までに約1,980名（全社員の約78%）が取得しているそうです。このほか、富士山麓の清掃や特定外来生物駆除活動などをご紹介頂きました。



現場における仮設照明をLED化



バイオディーゼル燃料の使用推進（建設機械に給油中）



生物多様性に関するガイドブック

発表事業者の声

西松建設 川嶋ありさ氏

弊社は2016年に環境大臣よりエコ・ファースト企業として認定を受け、以来、全社を挙げてさまざまな環境活動に取り組んでいます。活動の中には課題もありますが、「やれない理由を挙げず、やれる方法を考える」という意識の下で、私たち建設業ができる最大限の取り組みを今後も進めてまいります。

未来を創る環境力
西松建設



企業と環境展

親子ワークショップ

企業の取組みを区民や子どもたちに知ってもらい貴重な時間。環境について勉強したり、親子の会話が弾むワークショップです。

提供
ニコン世界にひとつ、自分だけの
「森のカスタネット」をつくろう!

協力: 日本自然保護協会



ニコンが支援している生物多様性復元計画「赤谷プロジェクト」。前半は、群馬県みなかみ町にある「赤谷の森」での取組みや、この森に生息する動物たちの紹介がありました。後半は、「赤谷の森」の倒木や間伐材から生まれた無垢材のカスタネットに、思い思いに絵を描いてオリジナルのカスタネットを作りました。独創的なイラストの作品もあり、保護者と一緒に音色を楽しんだり、参加者同士でリズム遊びをしたりする姿も見られました。



提供事業者の声

ニコン 立木秀成氏

保護者と相談しながら絵を描いたり色を塗ったりして、大作がたくさん出来上がりました。私たちが応援する赤谷の森の環境活動から生まれたカスタネットを鳴らすたび、子供たちが森の大切さを思い出してくれるとうれしいです。

提供
パシフィックネットスマホ顕微鏡で、
ミクロの世界をのぞいてみよう!

協力: sopa.jp



リユースタブレットと、タブレットに装着できる顕微鏡レンズツール「Leye」を使用して、普段は肉眼で見ることができないミクロの世界を観察しました。動き回る微生物が画面に映し出されると、子供たちからは大きな声が上がったり、タブレットの機能を利用して写真や動画を夢中で撮影していました。また、違う種類の微生物を観察したチームと情報交換をしたり、特徴を話し合うなど、活発にコミュニケーションも活発に取っていました。



提供事業者の声

パシフィックネット 杉研也氏

レンズを置くだけで、普段使っているタブレットが顕微鏡にもなることは驚きでした。リユースタブレットを活用してミクロの世界を体験することで、子供たちだけでなく大人も楽しめるワークショップになりました。

提供
オイシックス
ドット大地ココナッツで
リップクリームを作ろう!

協力: ココウェル



「ココナッツ博士を目指そう!」と題して、スライドを使いながらクイズ形式で、ココナッツの産地や特徴、さまざまな加工品やそれらを生産する現地の人たちの生活環境について幅広く学びました。後半は実際にココナッツオイルを使用してリップクリーム作りを行いました。みつろうが溶けていく様子や、香り付け用のアロマエッセンスの香りを選んだり、パッケージのシールに名前や自分だけの商品名を書いたり、楽しんでいました。



提供事業者の声

オイシックスドット大地 牛島真也氏

子供たちの真剣な表情が印象的でした。ココナッツはさまざまな使い道があって、ほとんど捨てるところがないエコな植物。これからもっと親しまってもらえたらうれしいです。「made by myself」のリップクリームも使ってくれたかな?

提供
ベネッセ
コーポレーション東大生と学ぶ環境ワークショップ
～「炭素」の秘密に迫ろう!～

協力: 東京大学CAST



現役の東大生が講師となり、地球温暖化の原因である温室効果ガスの代表CO₂を構成する「炭素」について、クイズと実験形式で学びました。低学年の子供たちにはクイズは難しいようでしたが、実際に自分の目と手を使い実験をしながら答えを知ることができるので、変化の過程や結果が出る度に子供たちで話し合ったり、東大生に質問を投げかける姿が見られるなど、科学の不思議や楽しさに触れる機会となりました。



提供事業者の声

ベネッセコーポレーション 孫昌範氏

台風21号による大雨と強風にも拘らず、港区の小学生がたくさん参加され、東大CAST様の実験教室に夢中になり、取り組まれたのがとても印象的でした。これからも好奇心をもって成長して欲しいと思います。



企業と環境展 高校生による 環境ラジオCMコンテスト

企業の環境に対する取組みをラジオCMで表現しました。

企業と環境展 大学生による 環境ビジネスアイデアコンテスト

環境をテーマにビジネスを考えました。

提供
みなと環境に
やさしい事業者会議

表現を学び、グランプリを目指せ!

テーマ・みなと環境にやさしい事業者会議「環境にやさしいゴミ拾い」

提供
日本自動車連盟
ベネッセコーポレーション

環境とビジネスを考える! 次世代への環境活動

テーマ・日本自動車連盟「社会貢献活動を通じた若年層への認知度向上について」
・ベネッセコーポレーション「ベネッセに期待される環境教育のビジネスプラン」



恒例となった高校生ラジオCMコンテスト。今年は広告業界を目指す高校生が多く参加しました。9月に行ったオリエンテーションではまず、ラジオCMを知ってもらうため、博報堂クリエイティブ局福島氏からいろいろなラジオCMの手法を講演頂きました。その後のワークショップでは、博報堂クリエイターを含め、課題に対しての考え方や表現方法を学びました。

10月22日の最終プレゼンテーションには、6名の高校生が参加しました。1分以上の大作から、短い言葉で伝える内容など多彩なアイデアも見られ、高校生らしい視線からの作品もありました。


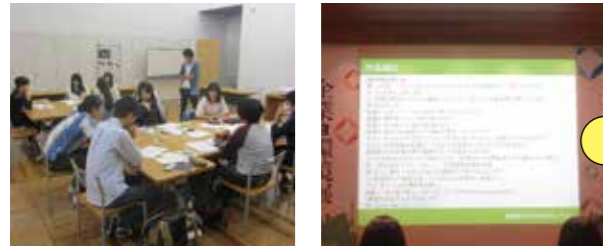
優勝したのは、高校3年生の松浦 梨々花さんで、課題を明確に捉えユーモアのある表現が評価されました。グランプリ作品は収録を行い、文化放送の協力のもとラジオ番組にて放送予定です。



提供事業者の声

みなと環境にやさしい事業者会議 高木信彰氏

今回初めてお題を提供させて頂きました。「環境にやさしいゴミ拾い」と少し難しいお題でしたが、アイデアの出し方や発想の転換が非常に参考になりました。高校生も広告業界に触れたことで、素敵な体験ができたと思います。

●日時: 2017年9月24日(日) 14時00分～オリエンテーション / 10月14日(土) 14時00分～ブラッシュアップ / 10月22日(日) 10時00分～プレゼンテーション
●CM制作協力: 太陽企画、博報堂、文化放送
●参加者: 高校生12名



9月30日にオリエンテーションを実施しました。全国環境ビジネスコンテストを行っている「em factory」とのタイアップ企画で5年目を迎えます。

テーマを提供した日本自動車連盟は若い会員向けの施策について「大学生のアイデアを貸してほしい」とのことでした。次にベネッセコーポレーションからは、環境教育プランについて、年代別にコンテンツを持っている会社ですが、自社でしかできないビジネスプランを求めているとのこと。


10月22日の最終プレゼンテーションには9名の大学生が参加しました。各グループが考えてきたプランはアイデアにあふれ、収益の部分で改善点があったものの、ビジネスプランとしては新鮮な考え方もあり、審査員からも好評でした。優勝は日本自動車連盟のテーマに取り組んだJAF1チームで、分析とアイデアが評価されました。



提供事業者の声

日本自動車連盟 (JAF) 酒井明夫氏


JAFという存在が、クルマ離れのすすむ若年層では認知度が低く、課題となっています。そのようななかで学生さんたちが創造力を働かせ、柔軟な発想で鋭い意見を発表することで刺激をいただきました。ありがとうございました。




提供事業者の声

ベネッセコーポレーション 孫昌範氏

短い期間で弊社についてよく調べたうえで、社内では出てこない斬新なアイデアをご提案いただき、大変刺激を受けました。環境教育を軸に、小さいお子さんから大人に対して、社会に対して貢献できることを大学生の皆さんと考える場を提供してくださったmecc様に感謝です!



●日時: 2017年9月30日(土) 13時00分～オリエンテーション / 10月14日(土) 10時00分～ブラッシュアップ / 10月22日(日) 16時00分～プレゼンテーション
●協力: em factory (大学生環境団体)
●参加者: 大学生13名



第1回

持続可能な社会への企業の役割と連携 ～持続可能な開発目標SDGsとは何か～



今回のセミナーは、2017年がSDGs(持続可能な開発目標)の「浸透元年」として位置付けられていることから伊藤園・笹谷秀光氏をお招きして、講演いただきました。伊藤園は、2016年9月1日号のビジネス誌『FORTUNE』において、「世界を変える企業50社(50 Companies That Are Changing The World)」の18位に選ばれました。日本企業は、50社中2社だけです。笹谷氏は、課題先進国の日本において、経済的価値を生み出すためには、昔ながらの「三方よし」の考え方、「自分よし、相手よし、世間よし」の活用が大切とのことでした。そこに発信力を加え、マルチステークホルダーとの関係性を築き、共感性が上がり結果として企業価値の向上につながる、こういういい循環が生まれると講演いただきました。

●参加事業者：アクセンチュア、NECキャピタルソリューション、NJS、エムオン・エンタテインメント、笠井設計、鹿島建設、カワセ印刷、オイシックスドット大地、知識経営研究所、DSM、テクノプロ・ホールディングス、東京ガス中央支店、東京フォレストパワー、東京放送ホールディングス、ニコン、西松建設、日本自動車連盟、博報堂、パナソニックヘルスケア、プロネクサス、文化工房、文星閣、ベネッセコーポレーション、三井倉庫ホールディングス、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、ヤマハ、横浜ゴム、リコージャパン

●日時：2017年5月23日(火) 15時00分～17時30分
●講師：株式会社伊藤園 常務執行役員 CSR推進部長 笹谷 秀光氏

第3回

ココナッツで学ぶフェアトレード



今回のセミナーでは、講演だけでなくワークショップを取り入れて、参加者一体型を目指しました。講師の水井氏は留学の体験をもとにフィリピンでフェアトレードに取り組んでいます。前半の座学では、フィリピンが抱える貧困や環境問題、実際に行っているココナッツ製品のフェアトレードの事業内容を紹介いただきました。水井氏は、都心に出稼ぎに行かざるをえない貧しい農村部の人たちに雇用を創出することが貧困問題の解決に繋がると考え、ココナッツ製品の商品開発に日々取り組んでいるそうです。後半は、フェアトレードで購入したココナッツオイルを使用したリップクリーム作りのワークショップを行いました。

参加事業者の声

三菱自動車工業 島田貴成氏

フィリピンが抱える貧困や環境問題などの現状について、水井先生のご経験も交えて分かりやすく説明いただきました。また、ワークショップを通して、フェアトレード製品についての理解を深めることができました。



●日時：2017年9月13日(水) 15時30分～17時00分
●講師：ココウェル 水井裕氏
●参加事業者：NJS、東京ガス中央支店、博報堂、三菱自動車工業、港区(13名参加)

第2回

みなと環境フォーラム ～コミュニティ、モビリティ&サステナビリティを考える～



エコプラザ・mecc・日本環境教育機構の共同開催によるセミナーです。日産自動車は8つの「サステナビリティ戦略」を掲げ、世界をリードする自動車メーカーの視点から、CSRの考え方や今後の資源・環境問題への取り組みを紹介いただきました。BMWは自動車業界の多様化に触れ、ユーザー、購入手段、利用手段、情報、メーカーなどについて講演いただきました。後半はオルタナ編集長 森氏をファシリテーターに、各社のプレゼンで出たキーワードをもとにディスカッションを行い議論が白熱しました。

参加事業者の声

東京ガス 中央支店 黒木徹氏

自動車メーカーの課題である、排ガス規制や化石燃料からの脱却に向けたゼロ・エミッション車の普及等、持続可能性に関する環境問題へのさまざまな取り組みを紹介して頂き、大変参考になりました。



●日時：2017年6月20日(火) 16時00分～18時30分
●パネリスト：日産自動車 秋山忠之氏、BMW 中山佳音氏
●ファシリテーター：オルタナ編集長 森 撰氏
●参加：57名
●共催：港区立エコプラザ、公益財団法人日本環境教育機構

第4回

マテリアリティと経済価値・社会的価値創出の実現に向けて



今回のセミナーは、グローバル企業の事例を学ぶために全日空(ANA)から講師をお招きしました。前半は、コーポレートブランド・CSR推進部の金田氏にCSR活動の枠組みについてお話をいただきました。CO₂の排出を抑制しつつ収益を上げることや、社会的課題への取り組みに積極的に参加し企業価値を上げることを目標とされていました。後半は、マーケットコミュニケーション部の深堀氏、崔氏から、世界で活躍する社会活動家にフライトポイントを寄付する『Blue Wingプログラム』を紹介いただきました。社会活動家のビジネススキルとネットワークを有効的に使いWin-Winの関係を構築したそうです。

参加事業者の声

三井倉庫ホールディングス 小林幸生氏

CSRへの取り組みを自社の企業活動のなかでどのように落とし込み展開していくか、先進的かつ実践的な事例の紹介を通して学ぶことができ、大変勉強になりました。

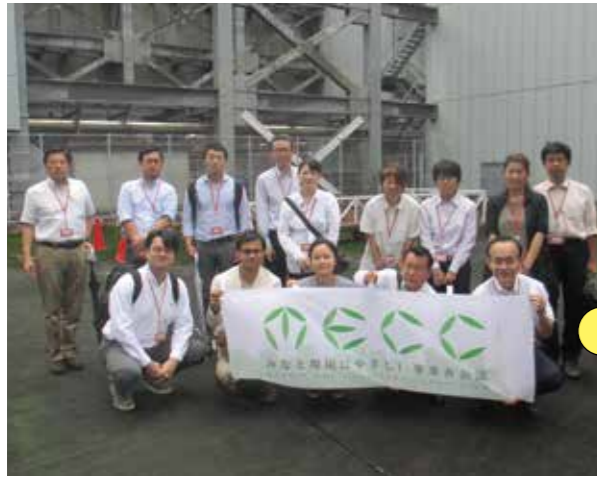


●日時：2018年1月29日(月) 15時30分～17時00分
●講師：ANAコーポレートブランド・CSR推進部 金田昇一氏
ANAマーケットコミュニケーション部 深堀 昂氏、崔正訓氏
参加事業者：サントリーホールディングス、ダイフク、DSM、ニコン、西松建設、日本通運、パナソニックヘルスケア、三井倉庫ホールディングス、三菱自動車工業、森永乳業、リコージャパン(19名参加)



第1回

赤坂産 桜のはちみつを楽しみました！ 赤坂みつばちあ見学会



2011年からTBS屋上で実施している「赤坂みつばちあ」の見学会を行いました。ミツバチの飼育を通して赤坂の街の環境保全や子供たちの環境学習に取り組むと同時に、地元商店街と協力した商品開発などで、地域の活性化や赤坂の話題づくりも行っている活動です。座学では、蜂の生態や生物多様性の取組みについて学びました。ミツバチが花粉を運び木々や草花などに受粉することで多くの植物に実がなり、都会に自然が増えているそうです。

参加事業者の声

横浜ゴム 長谷俊哉氏

テイスティングでは、花の種類による味、匂いの違いがはっきりわかり、驚きました。長年の取組みで生態や活動範囲、花の種類、場所も研究されており、大変興味深かったです。



- 日時：2017年9月28日（木）15時00分～17時00分
- 場所：赤坂 TBS内
- 参加事業者：東京ガス 中央支店、横浜ゴム、TBS、港区（17名参加）

第2回

知見を活かした改革のフロントランナー 「アクセンチュアの環境活動と働き方改革」見学会



政府が掲げ大きな潮目を迎えている働き方改革。その取組みのフロントランナーである総合コンサルティング企業アクセンチュアのオフィス見学会を行いました。前半は環境活動の取組みを紹介頂きました。座席ごとに温度差があると声が上がった際には社内全体にデジタル温度計を配置しモニタリング。レイアウトを見直し、温度差を解決したことにより空調コストも32%減と大きな成果を上げられていました。

後半は、「働き方改革」をテーマに事例を紹介頂きました。コンサルティング業務で培った知見を活かし風土改革のフレームワークに流用、ハード（制度）とソフト（意識）の両面から変革を行っていました。

参加事業者の声

DSM 多賀恵氏

弊社もサステナビリティに力を入れている企業の一つではありますが、オフィス内外において社員一人一人が貢献できるような形でさまざまなサステナビリティ活動や働き方改革の取組みをされており非常に勉強になりました。



- 日時：2018年3月7日（水）13時00分～14時15分
- 場所：アクセンチュア本社（赤坂インナーシティ）
- 参加事業者：DSM、フィリップ モリス ジャパン、プロネクサス、港区、森ビル、リコージャパン（21名参加）

みなとクリーン アップ大作戦

浜松町付近のクリーンアップ活動を行いました。

炎天下の中集まった大量のゴミ！ わたしたちの街をクリーンアップ



親子参加や、新入社員の環境活動の場としても活用頂いているクリーンアップ活動。エコプラザで出発式を行い、5チームに分かれてゴミ拾いをスタート。歩道だけでなく、植え込みや自動販売機付近では、多くのゴミやたばこの吸い殻が見つかりました。最初は笑顔でゴミを拾っていた参加者ですが、多くのゴミが見つかるようになると真剣な眼差しでゴミを拾う姿が見られました。集まったゴミは、可燃ゴミ26袋、不燃ゴミ13袋となりました。（1袋30㍀）。

- 日時：2017年7月15日（土）9時30分～10時15分
- 場所：港区浜松町付近の道路
- 参加事業者：NJS、大林組・大林組浜松町駅前工事事務所、昭和電工、パナソニック ヘルスケア、日比谷総合設備、日本通運、港区（80名参加）

参加事業者の声

昭和電工 塩崎久美子氏

有志の社員が集まり、日頃お世話になっている浜松町の街のゴミ拾いをしました。梅雨の晴れ間で気温も上がり、同日開催のバザーで買ったサングラスが大活躍！きれいになった路地を見て、達成感でいっぱいになりました。今後楽しく参加させていただきたいと思えます。



mecc エコバザー

売上金は全て積み立て、区内保育園や幼稚園などに寄付をします。

会員事業者からの 提供品を販売



今年も3会場にてエコバザーを実施しました。会員事業者から洋服や日用雑貨、書籍など多くの商品を提供頂いています。また各事業者のノベルティグッズも来場者に人気です。

エコライフ・フェア MINATO2017

日時：2017年5月27日（土）10時15分～15時00分
場所：港区立有栖川宮記念公園 エコライフ・フェアMINATO2017 meccブース
売上げ：80,200円
バザーの他、森ビル提供の「バードウォッチング」を同時開催し、親子13名の参加がありました。

みなとクリーンアップ大作戦

日時：2017年7月15日（土）9時30分～10時15分
場所：港区浜松町付近の道路
売上げ：2,000円

ハマサイト 打ち水大作戦

日時：2017年8月3日（木）13時～15時
会場：浜松町駅北口交通広場（ハマサイト）
売上げ：2,600円

○提供事業者：森ビル、東京ガス 中央支店、森永乳業、マイラン製菓、日本自動車連盟、港区、らでいっしょばーや（エコライフ・フェアMINATO2017のみ）

みなと打ち水大作戦

会員事業者だけでなく一般の参加も多い、環境意識を高める夏の看板イベントです。

※第1回新虎通り(7月4日)、第2回日比谷通り(8月2日) 打ち水大作戦は、雨天のため中止となりました。

第3回

文化放送のラジオ生中継で大盛り上がり! ハマサイト打ち水大作戦



打ち水開始前に毎年恒例の文化放送「大竹まことゴールデンラジオ!」の生放送でお笑い芸人のカミナリさんと文化放送の八木菜緒アナウンサーの進行で、meccの活動内容や打ち水の紹介を全国へ発信しました。中継後、参加者で一斉に打ち水を開始。ハマサイトを訪れた一般の方も加わり、広場全体に打ち水を行いました。今会場では、芝浦水再生センターの二次利用水のほか、ニコンと港区提供の消費期限が迫った防災備蓄水も利用しました。



参加事業者の声

ダイフク 河田英司氏

相変わらずの猛暑でしたが、時折吹き抜ける心地よい風と打ち水効果があいまって、ハマサイトにひとときのオアシスが出現。オフィスを離れてリラックス&リフレッシュ、楽しく参加できました。

DAIFUKU

- 日時: 2017年8月3日(木) 13時50分 打ち水開始 14時00分 終了
- 会場: 浜松町駅北口交通広場(ハマサイト広場)
- 主催: みなと環境にやさしい事業者会議 ●後援: 港区、プロネクス、文化放送
- 参加事業者: プロネクス、文化放送、NJS、エムオン・エンタテインメント、大林組、日本自動車連盟、ダイフク、日本道路、明治学院大学(136名参加)

第4回

子供から外国人旅行客まで参加! お台場打ち水大作戦



会員事業者のほか、近隣のホテルや保育園児、海外からの観光客の参加もあり、とてもにぎわいました。山積みになった打ち水用の桶や、高く放たれた打ち水の光景を写真に収める人の姿も多くありました。また、打ち水後に発生する放射熱に驚き、その理由を尋ねられたりもしました。実施終了後は、港区から間伐材でできた木製のうちわが配られ、木の匂いを楽しむ姿も見られました。



参加事業者の声

サントリーホールディングス 梅井祥子氏

「水と生きる」企業として、お台場オフィス地域コミュニティ活動の一環で打ち水大作戦に参加しました! 参加者に間伐材で作った木製のうちわが配られ、サントリー天然水の森との親和性の高さを感じました。

SUNTORY

- 日時: 2017年8月23日(水) 15時30分 打ち水開始 15時45分 終了
- 会場: お台場ペDESTリアンデッキ
- 主催: みなと環境にやさしい事業者会議
- 後援: 港区
- 参加事業者: サントリーホールディングス、明治学院大学、港区(84名参加)

meccEXPO

エコプラザに来館する区民などへの情報発信の場として。

会員事業者の取組みを一堂に展示



1月4日~30日の1ヶ月間、各会員事業者の取組みをエコプラザでまとめて発信する「mecc EXPO」を開催しました。個性あふれるさまざまな手法を用いて、各事業者の取組みを紹介するmeccEXPOは、区民にアピールするいい機会であると同時に、企業担当者も情報収集にも役立てている様子でした。第4回meccセミナーとの連動企画もあり、他社の活動を知る機会となり、配布物を手に取る様子も見られ、好評を博しました。



- 日時: 2018年1月4日(木)~1月30日(火)
- 会場: 港区立エコプラザ 1階展示スペース
- 主催: みなと環境にやさしい事業者会議
- 展示協力: アクセンチュア、イー・ギャランティ、NECキャピタルソリューション、NJS、エムオン・エンタテインメント、笠井設計、カワセ印刷、サントリーホールディングス、世紀東急工業、オイシックスドット大地、知識経営研究所、都築電気、DSM、テクノプロ・ホールディングス、東京ガス中央支店、東京放送ホールディングス、ニコン、西松建設、日本自動車連盟、日本通運、日本電気、パシフィックネット、長谷工コーポレーション、パナソニックヘルスケア、日比谷総合設備、フィリップ モリス ジャパン、プロネクス、文化放送、文星閣、ベネッセコーポレーション、マイラン製薬、港区、明治学院大学、森永乳業、森ビル、ヤマハ、横浜ゴム、リコージャパン、みなと環境にやさしい事業者会議(合計39事業者)

参加事業者の声

フィリップ モリス ジャパン 山原猛志氏

自社が取り組んでいるCSR活動を発信することはもちろんのこと、他の会員企業様の取組みや幅広い情報発信コンテンツをまとめて見て、知ることができたのは、とても貴重な機会になりました。



meccは、地域、区民、企業が一体となり
発信・参加・学習することで新しいアイデアがカタチになる
活気ある場を提供しています。

mecc会員になって、一緒に活動に参加しませんか？

meccに参加するには？

みなと環境にやさしい事業者会議は

企業の環境活動、CSR活動、省エネ活動などの問題点に地域、区民、企業が同じ立場にたち
業種も立場も異なるさまざまな事業者たちが同じ目線で出会える場になりたいと思っています。

環境に対する、互いの意識を高めあえる場に、

そして、アイデアが次々にカタチになっていく活気のある場を提供しています。

また、会員事業者の皆様における地球環境問題の解決に向けた積極的な取組みを支援しています。

イベントやボランティアの参加企画をご紹介します。

関心のあるテーマにかかわるイベントや、お近くで開かれる催し物に、ぜひ参加してみてください。

「みなと環境にやさしい事業者会議」のめざすところ

- 地域をコアに地球規模でひろがる環境情報の受発信基地
- CO₂削減に向けた全国に先駆ける「みなとモデル」の創出
- CSR活動に還元できるコンソーシアムとしての取組み
- 業種を超えたユニークな協働のネットワークの社会実験



入会資格

「みなと」にかかわりがあり、地域社会と地球環境への貢献に関心のある事業者。
事業規模の大小、法人の形態（株式会社、各種機関、NPO、個人事業者等）を問いません。



年会費

5万円（1口）
◎会費等は、事業運営費等に充てられます。



主な
取組み

- ・総会の開催（年1回）
- ・「企業と環境展」の開催（年1回）
- ・分科会の開催（事業の内容に応じて）
- ・各イベントの実施（打ち水、クリーンアップなど）
- ・meccセミナーの開催
- ・meccツアー（視察・見学ツアー）の実施

2017年度 mecc 会員一覧

（五十音順）

- | | |
|---------------------|--------------------|
| アクセンチュア株式会社 | 日本道路株式会社 |
| あすか製薬株式会社 | 一般社団法人日本自動車連盟 |
| 株式会社安藤・間 | 日本たばこ産業株式会社 |
| イー・ギャランティ株式会社 | 日本電気株式会社 |
| NECキャピタルソリューション株式会社 | 株式会社博報堂 |
| 株式会社エムオン・エンタテインメント | 株式会社長谷工コーポレーション |
| 株式会社NJS | 株式会社パンフィックネット |
| オイシックスドット大地株式会社 | パナソニック ヘルスケア株式会社 |
| 株式会社大林組 | 日比谷総合設備株式会社 |
| 笠井設計株式会社 | フィリップ モリス ジャパン合同会社 |
| 鹿島建設株式会社 | 株式会社文化工房 |
| カワセ印刷株式会社 | 株式会社文化放送 |
| サントリーホールディングス株式会社 | 株式会社文星閣 |
| 株式会社シュガーアンドスパイス | 株式会社プロネクサス |
| 昭和電工株式会社 | 株式会社ベネッセコーポレーション |
| 世紀東急工業株式会社 | 本田技研工業株式会社 |
| 太陽企画株式会社 | マイラン製薬株式会社 |
| 株式会社ダイフク | 丸新運輸株式会社 |
| 株式会社知識経営研究所 | 三井倉庫ホールディングス株式会社 |
| 都築電気株式会社 | 三菱自動車工業株式会社 |
| テクノプロ・ホールディングス株式会社 | 港区 |
| DSM株式会社 | 明治学院大学 |
| 東京ガス株式会社 中央支店 | 森永乳業株式会社 |
| 株式会社東京フォレストパワー | 森ビル株式会社 |
| 株式会社東京放送ホールディングス | ヤマハ株式会社 |
| 株式会社ニコン | 横浜ゴム株式会社 |
| 西松建設株式会社 | リコージャパン株式会社 |
| 日本通運株式会社 | |